

第 67 回 光波センシング技術研究会講演会論文募集案内 (一般参加 ・ 企業参加 ご案内)

主 催 応用物理学会・光波センシング技術研究会

協 賛 (予 定) 電子情報通信学会 通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ、電気学会、情報処理学会、精密工学会、映像情報メディア学会、応用物理学会フォトンクス分科会、日本光学会、計測自動制御学会、日本分光学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本光学会フォトンクス情報システム産学連携専門委員会、光ファイバセンシング振興協会、IEEE Oceanic Engineering Society Japan Chapter、IEEE Photonics Society Tokyo Section Chapter

論文応募締切 2022 年 11 月 18 日 (金) 【必着】

開 催 日 2023 年 1 月 17 日 (火) , 18 日 (水)

会 場 東京理科大学 神楽坂校舎 森戸記念館 (ハイブリット開催)
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4 丁目 2-2 (TEL : 03-5225-1033)

趣旨と内容

「テラヘルツテクノロジーの最前線」

本研究会は 1988 年に応用物理学会の研究会として発足し、光波センシングの基礎、応用、実用化を中心とした光工学技術の発展を目指し活動を行ってきました。第 66 回研究会はコロナ禍でオンライン開催でしたが、第 67 回研究会から再び会場において開催します。また、新型コロナウイルスの状況を踏まえてオンラインでも参加可能なハイブリット開催を予定しています。

本研究会の目的のひとつは、光波センシング技術をいかに社会に役立てるかということです。学界と産業界が協力してこの研究会を推進してきたことにより、これまでに多数の応用技術が育まれました。また最近では、新たなセンシング・イメージング、通信や材料評価技術へのニーズが高まってきています。第 67 回研究会では「テラヘルツテクノロジーの最前線」をテーマに取り上げます。最近の進展が著しく、今後も様々な展開が期待されるテラヘルツ技術について、新しい計測技術の開発、発生・検出装置の最近の進展、イメージング技術や通信技術への新たな展開など、テラヘルツ技術の最新動向について、多様な招待講演を企画しております。

募集論文の性格： 未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報等は差し支えございません。

講演形式・時間： 現地会場およびオンライン開催、一般発表講演形式で質疑応答を含めて 20 分の予定。

応 募 方 法： 論文のアブストラクトを下記の事務局まで Email にてお送りください。
アブストラクトは A4 版 1 頁 (PDF および MS WORD) 以内で、書式は自由です。
演題、発表者、共著者、連絡先 (住所、TEL、FAX、E-mail) を明記願います。

応 募 締 切： 2022 年 11 月 18 日 (金) 【必着】

論 文 審 査： アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切： 2022 年 12 月 23 日 (金) 【必着】
A4 版 6~8 頁の PDF および MS WORD の原稿を共に E-mail にてお送りください。

参 加 費： 一般 10,000 円 (予約割引料金、税込) 論文集のダウンロード権を含みます。
学生 3,000 円 (オンライン聴講のみの場合は無料、事前登録は必要です。)
※ 受付時に PDF にて請求書を発行いたします。領収書の発行など、その他はお問合せ下さい。

企 業 参 加： 一口 50,000 円 (1 法人 1 口以上・ご所属の 2 名様の参加費を含みます)
口数によって、プロモーション発表の機会、広告等の予稿集への掲載、リンク等や製品写真の会議中の掲示など、特典がございます。事務局までお問合せ下さい。

問合先/送付先： 光波センシング技術研究会(LST)
事務局・委員長 田中 哲
防衛大学校電気情報学群通信工学科 (〒239-8686 神奈川県横須賀市走水 1-10-20)
TEL: 046-841-3810 内線 3368 (追加ダイヤルイン) FAX: 046-844-5911 (9:00-17:00)
Email: st_nda@ybb.ne.jp

★ 講演論文の別刷 2,000 円/件、論文集のバックナンバー (第 51~65 回) を 6,000 円/冊、第 1 回 から第 50 回までの講演論文を収録した DVD を 7,000 円/枚 にて頒布しています。事務局までお問い合わせください